

その建物(テナント)は大丈夫!? 知らない間に 消防法違反かも

知らなかったのは、済まされぬ
消防署と事前相談をしないまま、工場や倉庫などの増改築や改装、テナントの入居・入替えなどを行った場合、消防法違反となり、消防の定期検査時に改修や改善を指導されるケースが多発しています。

消防署への事前相談や届け出なく建物の使用を開始すると、消防法違反に気づかず、従業員や顧客を危険な建物へ招き入れることになり、安全と安心のためにも、新たに消防用設備の設置が必要かなどを消防署に相談し、届け出が必要な場合は提出してください。
消防法違反対象物を公表しています
消防法令の重大な違反にあたる建物の情報を公表しています。対象は、飲食店・物販店やスーパーマーケットなど不特定多数の

人を利用する建物や、病院・福祉施設など自力での避難が難しい人が利用する建物です。詳しくは、市ウェブサイトをご覧ください。か(下のコードからアクセス可)、お問い合わせください。
◇ 予防火報課

点検方法

簡単に点検ができます。アラームが鳴れば正常です。



詳しくは市ウェブサイトをご覧ください。か(下のコードからアクセス可)、お問い合わせください。
◇ 予防火報課

住宅用火災警報器

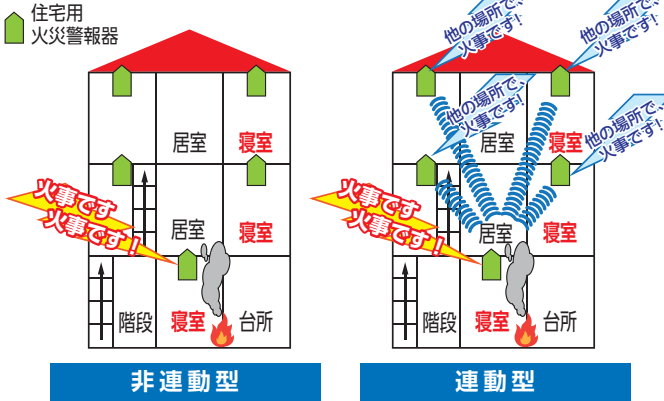
定期的に点検・10年を目安に交換を!

就寝中に発生した住宅火災で多くの方が亡くなっています。平成18年から住宅用火災警報器の設置が義務化されましたが、古くなる

いざというときに適切に作動するよう、定期的に点検し、10年を目安に交換しましょう(点検方法は左画像参照)。市消防局では運動型住宅用火災警報器をすすめています(下画像参照)。運動型は、火災

を感知した警報器や運動型に設定している全ての警報器が警報を発します。
【運動型住宅用火災警報器の事例紹介】
居住者が2階のリビングにいて、警報器が鳴った。警報器は2階の部屋で電気ストーブの上に衣類がかぶさり燃えているのを発見し、水をかけて消火。燃え広がる前に発見でき、被害を最小限に抑えることができました。

年、取り替えた運動型のものでした。「他の部屋で火事です」と知らせてくれたので、3階の部屋で電気ストーブの上に衣類がかぶさり燃えているのを発見し、水をかけて消火。燃え広がる前に発見でき、被害を最小限に抑えることができました。



※イラストのアンテナは、イメージです。実際にはついていません。

前年との比較

	令和2年	令和元年
火災件数	152件	157件
種別	建物	110件
	車両	12件
	林野	0件
	その他	30件
死者	3人	4人
負傷者	29人	23人

※速報値のため変動することがあります。

令和2年の火災概況 たばこが原因のトップに!

1位 **たばこ**
2位 **こんろ**
3位 **放火**
(疑いを含む)

ご活用ください 放火火災発生マップ

市ウェブサイト(右のコードからアクセス可)では、市内で発生した放火または放火の疑いがある火災を公開しています(下画像参照)。放火を防ぐには、放火させない・放火されない環境づくりに取り組むことが大切です。日頃から地域で協力して、放火を防ぎましょう。
※放火が原因でも事件性があるものや、プライバシーにより公開しないものなどがあるため、各種統計とは件数が異なります。
◇ 予防火報課

一例(令和2年12月末現在)

番号	発生日	時間帯	場所	放火された物件
1	2月	不明	御厨三丁目	紙くず
2	4月	4時台	御厨東二丁目	ごみ
3	4月	21時台	下小坂四丁目	収容物
4	5月	11時台	三ノ瀬一丁目	屋外物品
5	5月	13時台	長田西二丁目	自動車
6	6月	7時台	御厨栄町一丁目	収容物

市内で発生した火災の出火原因の1位がたばこで26件、2位はこんろで21件、3位は放火(疑いを含む)で19件でした。
たばこ火災に限らず、火災原因のほとんどは油断からくるものから、「いつもしているから」「これくらいなら大丈夫」など、気の緩みから火災が発生します。大切な人や物を失うことから後悔しても遅いです。普段から気をつけることで、火災を大幅に減らすことができます。
減らそう! たばこ火災
たばこ火災は全国的にも常にトップ3に入っています。喫煙者は減っているのに、たばこ火災は減っていません。原因は、単純な吸い殻の不始末です。灰皿の代わりに、空き缶やペットボトル、段ボールやビニール袋などの燃えるものに吸い殻を入れたり、灰皿に溜まった吸い殻を水につけずにもみ消した後すぐにごみ箱やごみ袋に入れたりすることが大きな原因になっています。しっかりと火が消えているか確認し、不安なときはいったん水につけるなど、確実に火を消してから捨てるようにしましょう。喫煙者のマナーの低下がたばこ火災を増加させています。たばこを吸う人は今一度、自覚をもって取り扱ってください。
◇ 予防火報課

春に多い山火事! みんなで守る生駒山
気軽に自然を感じる事ができる生駒山は、市民の貴重な財産です。しかし、山火事は一瞬にして貴重なみどりを灰に変えてしまいます。
秋から冬の間に落ち葉や枯草がたまり、空気が乾燥していることに加え、暖かくなることハイキングなどで入山者も多くなることから、春によく山火事が発生しています。
昨年10月1日から心肺停止および心肺停止を疑う救急要請に対し、救急車とあわせて消防車を出動させています。救急車が到着するまでの間に、先に消防車で到着した消防隊員が、AED(自動体外式除細動器)による除

心肺停止とその疑いのある救急要請 救急現場に 消防隊も出動します!

消防隊も出動!

救急件数が減少! 引き続き、救急車の 適正利用にご協力を

令和2年の救急出動は2万9356件、搬送者は2万5922人と令和元年より減少しました(グラフ参照)。
救急車は、急病人や負傷者などを緊急に病院に搬送するためのものです。市内では11隊の救急車がフル稼働し、現場から最も近い救急車が出動しています。
本来救急車の必要のない傷病者に救急車が出動しているときに、命にかかわる傷病者が発生すると、遠くの救急車が出動してしまいます。
【呼ばないだけが適正利用じゃない!】
不要不急の救急要請を控え、ただでさえ適正利用ではありません。緊急の症状を見逃さず、すぐに救急車を呼ぶことも大切な適正利用です。
【迷ったときは7119】
救急車を呼ぶべきか迷ったときは、救急安心センターにおおさか(7119)をご利用ください。病状やケガの緊急性に関する相談と症状に応じた救急病院の案内を行っています。緊急性の高い相談は、消防機関にたずねて救急車を出動させます。
◇ 予防火報課

春に多い山火事! みんなでする生駒山

新型コロナウィルスの影響で入山者が増加
昨年は新型コロナウィルスの感染防止のため、新鮮な空気を求めてハイキングをする人が急増し、ハイキングコースが密状態となりました。密状態になると、山火事の危険性が高まります。
山火事
原因1位はたばこ
過去に本市で発生した山火事の原因1位はたばこです。吸い殻のポイ捨てや歩きたばこは絶対にやめましょう。
早期発見にご協力を
市消防局では、5月5日まで特別警戒期間としてパトロールなどを強化しています。山から上がる不審な煙を見つけたときは、迷わずに119番通報をお願いします。
◇ 予防火報課

消防法違反の是正および未然防止に向けた 未然防止に向けた 連携協定を締結

昨年11月16日、市消防局防災学習センターで、消防法違反の是正および未然防止に向けた連携協定の締結式を行いました(写真)。
近年、正規の手続きをとらずに建物の増改築などを行うことで、消防用設備である自動火災報知設備などが未設置となる、消防法違反建築物が増加傾向となつています。この現状を打開するため、(公社)大阪府建築士会と(社)大阪府建築士事務所協会の協力を得て相互に連携して違反是正を推進し、市民生活の安全確保に努めます。
◇ 予防火報課

消防法違反の是正および未然防止に向けた 連携協定を締結